

平成 30 年度 第 2 回 佐世保市図書館協議会 会議録

1. 日 時 平成 31 年 2 月 22 日 (金) 16 時 30 分～17 時 50 分

2. 場 所 佐世保市立図書館 4 階 A 会議室

3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数 5 名) (出席 5 名)

- ・学校教育関係者 井上 道哉
- ・社会教育関係者 喜多 祥浩
- ・社会教育関係者 樋渡 憲三
- ・家庭教育関係者 櫻井 英子
- ・学識経験者 落合 知子

○事務局 (出席 3 名)

- ・図書館長 坂口 周一
- ・館長補佐兼図書第一係長 谷口 進太郎
- ・図書第二係長 合満 佐和子

4. 議題

- (1) 平成 30 年度事業実施状況について
- (2) 平成 31 年度予算 (案) について
- (3) その他

5. 議事 (要点筆記)

館長挨拶

(1) 平成 30 年度事業実施状況について

《 説 明 》

～事務局から資料に基づき、第 1 回協議会後の事業実施状況について報告を行った。～

平成 30 年 11 月 「ビブリオバトル 2018inSASEBO」開催 (文化マンス期間中)
第 2 回佐世保市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式・
第 49 回児童・生徒の郷土研究発表会開催

12 月 図書館マスコットキャラクター ネーミング募集 (～1 月 13 日)
「君川みち子氏語りの講演会」開催
「図書館 de ライブ～クリスマスコンサート with R. I. Z～」開催

平成 31 年 1 月 「古文書解読初級講座」開催 (1 月、2 月、3 月に計 6 回開催)
図書館雑誌スポンサー募集開始

2 月 「第 51 回佐世保市郷土研究所公開発表会」開催
「久川文乃さん講演会」開催

「第 1 回英語 de 友活 in 佐世保市立図書館」開催

「図書館基礎講座 in 九州 (佐世保)」開催 (2 月、3 月に 1 回ずつ)

3 月 「ビブリオバトル in 佐世保市立図書館」開催

《 質 疑 》

会長：ただいまの事務局の説明に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：それぞれの事業について、参加人数はどうか。予定した人数になっているのか。

事務局：それぞれ波があるが、特に英語イベントについては参加枠を超える申し込みがあっており、

抽選をさせていただいている状況にある。視聴覚室で行う音楽ライブについても 100 名を超えており、CD や音楽の本の貸出しにつなげていきたいと考えている。

委員：イベントの実施については、テレビ佐世保等で広報を行っているのか。

事務局：イベントごとにお知らせをして、来ていただいている。広報については引き続き力を入れていきたい。

委員：現在 NHK の夕方のニュースで、月 1 回、長崎市立図書館の司書さんが出演されて旬の本の紹介をされている。佐世保市立図書館もたとえばテレビ佐世保に出演されて、図書館のおすすめ本の紹介などをされてはいかがかと思う。

委員：図書館外での事業の実施状況はどうなっているのか。

事務局：「佐世保の図書館」に記載している。

委員：先日開催された「久川文乃さん講演会」でのアニメーションの講演は、皆様大変喜ばれていたの
で、広まるといいと思う。

事務局：アニメーションを実践するなかでいろいろな疑問が出てくると思うので、来年度もこのような講座を開催できればと考えている。

委員：3 月 3 日開催のビブリオバトルの参加状況はどうなっているか。

事務局：発表者を 6 名募集しており、観覧は当日参加できる。ただし投票を希望する方は、開始前に来ていただき、全ての発表を聞いていただくこととしている。

委員：調べる学習コンクールに関連しておたずねするが、本来であれば学校としても、本を読むだけではなくもっと調べたりまとめたりすることに軸足を置く必要があると考えているが、実態はそこまで手が回らない状況である。そのような中、調べる学習コンクールをしていただいていることは大変有難いことであるが、学校の反応についてお伺いしたい。

事務局：平成 29 年度、30 年度において重点支援校に赴いて百科事典や図鑑を使った調べ方の学習支援を行った。その結果、重点支援校からは、習われた方ほぼ全員から応募があった。平成 30 年度については、重点支援校ではない江上小学校などから支援依頼があり、司書を派遣した経緯がある。今後はどこから依頼があっても対応できる体制が整ったと考えている。

委員：児童の調べてまとめる力を伸ばしていくために、学校でも PR していきたいと思う。

委員：調べてまとめるには、本でなくてもいいのではないかと意見もあるが、その点はどうか。

事務局：図書館としては、その情報に責任を持たせるという点で、出典が明らかなものということを前提としている。インターネットで検索した情報も出典が明らかでないものは公式なものとして扱うことができないと考えている。

委員：大学生も本で調べることをしない状況にある。レポートもインターネットで調べてコピーしており、それが研究倫理に抵触することも教えているが、効果がない。小さいときから研究・勉強には本で調べるといこと、出典元を明らかにすることの大切さを教えて欲しい。

委員：学校の先生たちの間でも、図書館は本を読むだけではなく、調べてまとめる力をつける場所であることがいまひとつ浸透していないので、今後広げていきたい。

委員：ビブリオバトルの発表者の年齢はどうなっているか。

事務局：次回開催分については、中学生が 1 名、社会人 3 名、80 代 1 名と聞いている。

委員：読書は好きだが何を読んでいいかわからないという意見を聞くことがある。新刊にこだわる必要もないので、図書館から読書の仕方・工夫についての情報発信をしていただければと思う。

委員：古文書解説初級講座は人気があると聞いているが、参加人数はどうだったのか。

事務局：40 名の募集枠に対して 60 名の募集があった。中学生から 80 歳代まで幅広い年齢層で、ニーズはあると考えている。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

(2) 平成 31 年度予算（案）について

《 説 明 》

～事務局から資料に基づき図書館運営事業の平成 31 年度予算（案）について説明を行った。～

・平成 31 年度予算の総額は、平成 30 年度予算から 23,440 千円増の 189,461 千円

「施設管理」平成 30 年度予算から 3,319 千円減の 37,381 千円

減の主なものは、トイレ洋式化工事終了による 3,900 千円の減

「運営」平成 30 年度予算から 26,737 千円増の 118,328 千円

増の主なものは、システムリプレイスに係る費用 25,000 千円と連携中枢都市圏構想事業の実施費用 1,136 千円

「図書館資料費」平成 30 年度予算とほぼ同額の 30,924 千円

「郷土研究」平成 30 年度予算とほぼ同額の 2,828 千円

《 質 疑 》

会長：ただいまの事務局の説明に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：平成 30 年度予算と比較して約 2,300 万円の増となっているが、新年度予算の組み立てについてどう考えているか。

事務局：本来であれば資料費の増を考えていたのであるが、システムの方は待ったなしというところだったので、まずはそこに取り組んでから、来年度に向けて資料費の増を要望していきたいと考えている。

委員：システムの保守料についてはどうなっているのか。

事務局：システムの保守については毎年別途予算計上している。平成 31 年度についてはシステム機器の入替えに要する費用である。

委員：入替えのサイクルはあるのか。

事務局：5年に1回とされている。5年ごとにこれくらいかかりますとあらかじめ計上しておかないと予算がとおらないこととなっている。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

(3) その他

①連携中枢都市圏構想事業の開始について

事務局から当日配付資料に基づき下記事業に関する説明を行った。

- ・図書館相互レベルアップ（研修・講習会の共同開催）
- ・図書館相互利用サービス（利用者登録・貸出）
- ・図書館相互利用サービス（貸出・返却の配送サービス）

《 質 疑 》

会長：ただいまの事務局の説明に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：相互利用サービスについては、佐世保市民以外の方でも佐世保市立図書館の本を借りることができるということか。

事務局：佐世保市と連携市町の図書館相互間で利用者登録・貸出しができることとなり、たとえば佐世保市民が東彼杵町の図書館に行くと、東彼杵町のカードを作ることができ、東彼杵町の図書館の本を借りることができることとなる。具体的な取り決めについては、3月に予算の審議が

通ってから協議を行いたいと考えている。

委員：各市町の図書館で所蔵する資料の特徴はあるのか。

事務局：郷土史や歴史については地元の図書館が強いので、直接行って手にとることができ、借りた本を佐世保の図書館で返すことができるようになる。

委員：利用者が読みたい本を佐世保市立図書館で受け取ることができるのか。

事務局：今でも図書館間での貸し借りは行っているので、リクエストカードを出していただければ取り寄せることができる。

委員：自分が本当に読みたい本であるかどうかは、実際にその図書館に行ってみて書棚の本を見てみないとわからない部分もあると思う。また、人が図書館間を行き来することが圏域の活性化につながると思う。

委員：連携事業の実施計画は5年とされているが、その後も継続する可能性はあるのか。

事務局：事業継続を前提として取り組んでいく。

委員：人口減少に歯止めをかける意味でも、継続して取り組んでいただきたい。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

②2019年度図書館カレンダーについて

事務局から当日配付資料に基づき、GW10連休期間中開館する旨説明を行った。

③図書館まっりの開催、図書館公式キャラクターの名前の決定について

事務局から当日配付資料に基づき説明を行った。

④イベントの開催案内について

事務局から当日配付資料に基づき説明を行った。

⑤次回開催日程について

第1回を10月～11月に開催を予定している。日程については連絡・調整し決定する。

以 上